

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

平成 26 年度事業報告書

I. 事業の概要

薬学教育 6 年制が平成 18 年度に導入されて以来今日まで、薬剤師養成教育が行われる中、平成 25 年度においては薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂が行われ、平成 27 年度から新コアカリキュラムに基づく薬学教育が開始される状況にある。

この間、教育内容、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題について、日本私立薬科大学協会（以下協会という。）理事会、総会及び各種検討委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会及び新薬剤師養成問題懇談会（新六者懇）等が行う調査等に協力した。

なお、平成 26 年 6 月開催の第 1 回通常総会において新役員が決定し、新しい体制の下で本協会の充実・発展に取り組んだところである。

個々の事業内容については次のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査研究

(1) 教育、研究体制等の整備について

薬学教育 6 年制に関する諸問題について検討を行うと共に、平成 25 年 12 月 25 日に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラム及び薬学実務実習に関するガイドライン等の取り扱いについて、協会として検討・協議を行った。

また、懸案となっていた薬剤師免許発行の短縮化については、卒業認定の時期を可能な限り早めると共に、協会加盟大学全体で統一することとし、卒業認定時期を 3 月 10 日若しくはそれ以前の日とし、平成 27 年度卒業生から実施することで決定し、各大学にお願いしたところである。

(2) 実務実習について

本年度は 5 回目となる実務実習の実施となった。また、実務実習に関する諸問題について検討を行うと共に、協会としての課題等について検討を行った。

このほか平成 25 年度に実施した実務実習を踏まえ、実施体制、実施時期、及び実務実習内容等に係る諸問題の改善に向けて、加盟大学に実態調査を行い、その結果については薬学教育協議会で検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

本年度は6回目となる共用試験の実施となった。

また、薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の問題・課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況、平成26年度評価対象10大学の評価実施、平成28年度評価対象大学の決定等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(5) 薬剤師国家試験問題の検討について

平成26年3月に実施された第99回薬剤師国家試験を受けて、当協会の検討7部会(物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務)における検討結果を踏まえ、薬剤師国家試験問題検討委員会において調査検討を行い、協会会長名で報告書を厚生労働省へ提出した。(平成26年6月30日付)

また、その後開催された厚生労働省医道審議会薬剤師分科会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、本協会「薬剤師国家試験問題検討委員会」の中から2名の推薦を受け、同事後評価部会(7月23日開催)において参考人として意見を述べたところである。

2. 薬科大学協会の管理運営等

(1) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

入学定員の遵守については、入学者数が入学定員の1.1倍以上の大学から、入学定員超過の理由及び今後の対応等について協会宛に文書が提出された。

一方、平成27年度以降の学生入学定員遵守の取り扱いについては、これまでの「申し合わせ」から既に10年が経過すると共に、薬学教育を巡る環境の変化等から申し合せの内容を見直すこととし、これまで以上に厳しい態度で臨むことを確認した。

- (2) 「アジア薬科大学協会（AASP）第3回薬学部長フォーラム2014」について
同フォーラムは平成26年6月28日、29日の両日日本で開催され、（慶應義塾大学薬学部）海外からの参加者を含む多数の参加を得て実施された。
なお、本協会は当該事業に対し共催事業として協賛した。
- (3) 各種調査資料の作成について
学生・教職員数、入試要項、学生納付金、入学志願者の動向及び卒業生の就職状況等を調査し、協会及び各大学の検討・参考資料とした。
- (4) 会報（協会だより）の刊行について
事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等について掲載し、年2回各大学へ配布した。
- (5) 広報活動について
各大学の入試状況を調査し、入試案内（冊子）を作成して全国の高校（5,200校）及び予備校（200校）等へ配布した。
また、6年制薬学教育への理解及び普及を図るため、昨年に引き続き「6年制薬学ガイド2015」を刊行し、全国の高校及び予備校へ配布すると共に、関係団体等にも送付した。
3. 薬剤師の生涯教育
各大学における卒後研修の実態を調査し、調査結果を各大学へ配布した。
4. その他
- (1) 教育賞の授与について
毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し、日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は3名を選考し、授与した。
- (2) 平成25年度事業報告、決算・監査報告が承認された。
- (3) 平成27年度事業計画、収支予算が承認された。
- (4) 平成26年6月3日開催の協会総会において新役員が決定し、新しい体制となった。

[参 考]

(講演会)

- ・平成 26 年 6 月 3 日 (火) ～ 文部科学省高等教育局医学教育課 平子 哲夫
企画官による講演
「薬学教育をとりまく環境」について
- ・平成 26 年 11 月 26 日 (火) ～ 鳥取大学医学部 高塚 人志准教授による講演
「ヒューマンコミュニケーション」について

(文部科学省等会議開催)

- ・第 14 回新薬剤師養成問題懇談会 (新六者懇) が開催され、今後の薬剤師養成に
おける当面する諸課題について協議等が行われた。
- ・「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」が開催され、質の高い入学者の確保と
教育の質の向上に向けてのフォローアップ状況等について、協議等が行われた。
- ・文部科学省、厚生労働省及び関係団体等で構成する「薬学実務実習に関する連絡
会議」において、改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習の在り方
等について協議等が行われた。

(「日本薬学教育学会」設立準備委員会の設置)

- ・薬学教育に関する研究の充実・発展並びにその成果の普及を目的として、全国薬
科大学長・薬学部長会議等の賛同を得て、「日本薬学教育学会」の設立準備委員
会が設置され、設立準備に向けて検討・協議が行われた。

Ⅱ. 諸会議開催状況

会議名	開催月日		開催場所
(理事会)			
第16回 理事会	26. 5. 13	(火)	アルカディア市ヶ谷
第17回 理事会	26. 6. 3	(火)	〃
第18回 理事会 (新理事会)	26. 6. 3	(火)	〃
第19回 理事会	26. 7. 1	(火)	〃
第20回 理事会	26. 9. 30	(火)	〃
第21回 理事会	26. 11. 4	(火)	〃
第22回 理事会	26. 11. 25	(火)	〃
第23回 理事会	27. 3. 3	(火)	〃
(総会)			
平成26年度第1回 総会	26. 6. 3	(火)	アルカディア市ヶ谷
平成26年度第2回 総会	26. 11. 25	(火)	〃

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日等		開催場所
部局長会議			
第33回事務局長会議	26.7.18	(金)	アルカディア市ヶ谷
第34回学生部長会議	26.11.28	(金)	アルカディア市ヶ谷
第34回教務部長会議	26.12.12	(金)	金沢東急ホテル
薬剤師国家試験問題検討委員会			
薬理部会	26.5.10	(土)	RCC文化センター
薬剤部会	26.5.10	(土)	名城大学名駅サテライト
病態・薬物治療部会	26.5.10	(土)	昭和大学旗の台キャンパス
法規・制度・倫理部会	26.5.10	(土)	千葉科学大学薬学部
衛生部会	26.5.17	(土)	帝京平成大学中野キャンパス
実務部会	26.5.23	(金)	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
物理・化学・生物部会	26.5.24	(土)	帝京平成大学中野キャンパス
第1回薬剤師国家試験問題検討委員会	26.6.13	(火)	アルカディア市ヶ谷
教育賞受賞者選考委員会			
第1回受賞者選考委員会	26.7.1	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回受賞者選考委員会	26.11.4	(火)	アルカディア市ヶ谷
広報誌編集委員会			
第1回編集委員会	27.1.9	(金)	薬科大学協会事務局
第2回編集委員会	27.1.30	(金)	〃
実務実習検討委員会			
第1回検討委員会	26.7.1	(火)	アルカディア市ヶ谷
定員問題検討委員会			
第1回検討委員会	27.1.30	(金)	薬科大学協会事務局

IV. 調査実施項目

1. 平成 25 年度 薬学部經常費補助金交付額調
2. 平成 25 年度 卒後教育実施状況調
3. 平成 25 年度 薬学部卒業生進路調 (平成 26 年 3 月卒業生)
4. 平成 25 年度 大学院修了者進路調 (平成 26 年 3 月修了者)
5. 平成 25 年度 実務実習実態調査
6. 平成 26 年度 薬学部入学志願者動向調 (志願者、合格者、入学者、併願校等)
7. 平成 26 年度 大学院入学志願者調
8. 平成 26 年度 薬学部学生、大学院生数調 (平成 26 年 5 月 1 日現在)
9. 平成 26 年度 専任教員及び職員数調 (平成 26 年 5 月 1 日現在)
10. 平成 26 年度 薬学部在学生 (3 年生) 出身校都道府県別調
(平成 26 年 6 月 1 日現在)
11. 平成 27 年度 薬学部学生納付金調
12. 平成 27 年度 大学院生納付金調
13. 平成 27 年度 薬学部入学志願者調